

# 第2回（平成22年度）「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 京都環境文化学術フォーラム「国際シンポジウム」開催概要

## 1 日時

平成23年2月13日（日）

■「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 午前10時20分～11時50分

■京都環境文化学術フォーラム国際シンポジウム 午後1時～4時30分

## 2 場所

国立京都国際会館 メインホール

## 3 内容

### （1）「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式

シグミ・シンゲワンチュク陛下（ブータン王国第4代国王）（代理出席：ケサン・チョゼン・ワンチュク王女陛下）、原田正純氏（元熊本学園大学教授／日本）、及びエリノア・オストロム氏（インディアナ大学教授／アメリカ合衆国）を第2回殿堂入り者として顕彰し認定証及び記念品を授与しました。殿堂入り者からは記念スピーチを頂戴しました（オストロム氏はビデオメッセージ）。



会長式辞



式典の様子



認定証の授与



記念スピーチ

## (2) 国際シンポジウム

『「グローバルコモンズを目指して」ー自然と文化を大切にした幸福な社会ー』をテーマにシンポジウムを開催しました。

### ア 基調講演

ケサン・チョゼン・ワンチュク王女殿下(ブータン王国)が、ブータン王国の発展理念である「国民総幸福量」(GNH)の内容、持続可能な社会づくりに向けたブータン王国の取組みについてお話されました。

### イ パネルディスカッション



#### [パネリスト]

ケサン・チョゼン・ワンチュク王女殿下  
ヴェツォプ・ナムギャル氏(駐印ブータン王国大使)

カルマ・ツェテム氏(ブータン王国国民総幸福委員会次官)

広井 良典氏(千葉大学教授)

西水 美恵子氏(元世界銀行副総裁)

#### [コーディネーター]

松下 和夫氏(京都大学大学院教授)

### ウ 内容

- ・ 「国民総幸福量」(GNH)という概念を中心に、ブータンの社会モデルが世界に与えた影響と持続可能な社会づくりを中心にディスカッションしました。
- ・ パネリストより、日本でも地域レベルで物質的な豊かさにとらわれない新たな「豊かさ」を追求する動きがでてきていること、日本の中小企業ではブータンと同じ考え方にに基づき社員と家族の幸福の実現を目指している事例があることが紹介されました。そして、ブータン王国と日本との人的・知的な交流を今後も継続し、さらに深めることがそれぞれの持続可能な国づくりに貢献することが必要である旨、述べられました。
- ・ 最後に、本シンポジウムが、ブータン王国の社会制度からも示唆を得ながら、京都議定書誕生の地である京都の新しい低炭素社会の構築に寄与することを希望する旨総括し、パネルディスカッションは終了しました。